

診療担当医表

※三宅医師に関しましては10月25日までの勤務となっております。

平成25年10月現在

	2診	3診	4診	5診
月	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	—
	午後	竹本 範彦	江川 徹	—
火	午前	竹本 範彦	門元 俊樹	山本 さくら
	午後	竹本 範彦	—	門元 俊樹 第1・3診
水	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	—
	午後	竹本 範彦	江川 徹	—
木	午前	竹本 範彦	江川 徹	山本 さくら
	午後	竹本 範彦	藤永 泰宏 第1診	濱田 佳寿 第3診
金	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	—
	午後	山中 崇	竹田 修司 第2・4診	三宅 昌文
土	午前	竹本 範彦 第2・4診	—	—
	午後	—	—	—

循環器内科	竹本 範彦・藤永 泰宏・竹田 修司
内科	六浦 聖二・門元 俊樹・山本 さくら
リハビリテーション科	山中 崇
呼吸器内科	江口 誠一
消化器内科	江川 徹・三宅 昌文
内分泌内科・腎臓内科	濱田 佳寿

■診療時間

午前9時～午後5時30分

土曜日 午前中

■休診

第2・4土曜日

日曜日・祭日（急患はこの限りではありません）



● 当院の基本方針

地域住民の健康の増進を図り、信頼される病院を目指し地域医療に貢献いたします

1. 地域に根ざした医療

3. 患者様中心の医療

5. 健全な病院経営基盤の確立

2. 医療レベルの向上

4. リハビリテーション機能の充実

竹本病院 ご案内



交通案内

JR中村駅より

タクシー 約5分

徒歩 約15分

患者様の権利章典

当院では、ご利用の皆様へより良い医療をやすく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただけるよう、努力しています。そうした私達の医療活動の前提として、患者様には以下に掲げられるような、「患者様の権利」があり、私達医療従事者にはそれを守り発展させる義務があると考えています。

あなたには、人格を持った個人として尊重される権利があります。

あなたには、必要かつ最善の医療を平等に受ける権利があります。

あなたには、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。

あなたには、あらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を求める権利があります。

あなたの医療上の個人情報、およびプライバシーは保護される権利があります。



竹本病院

広報 第30号 2013年10月発行

〒787-0015 高知県四万十市右山 1973番地2

電話:0880-35-4151 FAX:0880-35-4155

発行・編集

竹本病院広報委員会

E-mail: th-takemoto@poem.ocn.ne.jp

編集長: 杉本 一等



医療法人創治 竹本病院

検索

スタッフ募集

URL <http://www12.ocn.ne.jp/~takemoto>

詳しい情報については、ホームページでご覧下さい。

第30号

2013年10月

発行

菜の花だより

医療法人 創治
竹本病院
広報紙



よりよい医療へ!

～回復期リハビリ病棟編～



回復期リハビリテーション病棟に、入院して来られる患者さんの多くは、病気やケガにより、急性期は脱したものの何らかの障害を持っています。患者さん自身はもとより、家族も大変な思いを抱えていらっしゃいます。

私達リハ看護師の役割は、そんな悩みを抱えている人たちが、思い描く生活が出来るよう取り組んでいく事だと思っています。

そのひとつとして、脊髄損傷により、膀胱直腸障害を抱えた患者さんの自然排泄への取り組みをしました。この方は自然排尿がなく、看護師による時間ごとの導尿で対応していました。しかし、膀胱容量がいっぱいになると尿失禁をしてしまいます。

そこで、何かいい方法はないかな?と模索していたところ、「ゆりりん」という膀胱のなかに溜まっているオシッコの量がわかる、残尿測定器を知りました。医師やリハスタッフ、事務の方の協力を得



7月21日 高知県リハビリテーション学会にて

て、デモ機を借りて頂けることになり、実際に患者さんに使えるようになりました。最初は、スタッフも慣れない事に、戸惑いもありましたが、次第に患者さんと排尿パターンが合うようになって、タイミング良く自己導尿でき、尿失禁がなくなりました。これにより患者さんは失禁を心配することなく、外出が出来るようになります。障害を抱えても、健康時の生活に近づけられるよう、私達はこれからもいろいろなことに取り組んでいきます。

また、今回の事例を高知県リハビリテーション学会にて発表し、多施設の方々にも「ゆりりん」の有効性を説明させていただきました。

回復期リハビリテーション看護師 吉岡留美

栄養科かわらばん
災害時
食料提供訓練

10月2日（水）非常食の賞味期限切れを機会に、多職種による災害時に関する食事提供訓練をおこなうとともに院内災害マニュアルの見直しを検討しました。

この訓練には各部署より26名のスタッフが参加し、災害時の設定で、実施致しました。



～当日の設定～

電気・水道・ガス 使用不可
エレベーター 使用不可

栄養士はかろうじて1名出勤していた

朝昼兼用の食事の準備



なんと!水だけでも炊けちゃう!?



炊き込みご飯(鶏肉味) 味も◎



温めるだけのかぼちゃ詰め煮



これがなかなかうまい!

今回の訓練は、5年前には栄養科のスタッフのみが実際に作成をしていましたが、2011年の震災をふまえ、栄養科以外のスタッフに作成訓練をお願いしました。使用する事があってはならない訓練ですが、訓練を通して見出された様々な意見を反映させ、万全な支援体制の構築が急務と考えております。

栄養科 主任 吉井智美

命を救う救急講習

近年は一般市民への救急講習・AEDの使用方法も一般的になり、看護師のみならず医療に携わるスタッフへの救急講習も必要と感じ、救急に関する最新の情報および知識・技術等を学ぶため救命士に来てもらい毎年講習を行っており、今年は10月11日に行いました。内容は、心臓マッサージ、AEDの使用方法、中堅看護師には気管内挿管介助のトレーニングも行っています。



救急講習は一般の方でも受けた方は多いと思いますが、いざ心臓マッサージ等の蘇生行為が必要になった場合、行為をする側には人の命が関わります。それは患者さんかもしれません、身近な家族かもしれません。その様な場面に直面した時、二の足を踏まず自信をもって行う事が出来るのでしょうか？
確実な蘇生行為をおこなうには日頃からの反復が必要です。当院では救命士の方に講師をお願いする他、月に1度のペースで院内での救急講習を実施し、自信をもって「命」と向き合える努力をしています。

いってきましたハワイ研修

当院では毎年、ハワイのホノルルへ研修旅行があります。今年は9月25日～30日の4泊6日の日程でしたが、都合のつかないスタッフが多く、看護師の中内と矢野2名での旅路となりました!

ホノルル到着の翌日にはクワキニ病院にてアメリカの医療事情についての講演や、施設内の見学などを体験してきました。見学の際は日本人移民一世、二世の方達が付いてくれ、集中治療室や病棟を案内してもらい、広く充実した設備に驚かされました。

残りの2日間は自由行動だったのでダイヤモンドヘッドやビーチなどを観光したり、免税店でショッピングなどを楽しみ、ハワイを満喫させていただきました。

外来看護師 中内 節美



今年もよさこいがやってきました!



9月21日 よさこいの「バイタルフス&テクノクラフト」さん達が昨年を引き続き、当院に踊りを披露しに来てくれました。

「よさこいの良さを知ってもらいたい」「体の不自由な人にも楽しみになるものを持ってもらいたい」という情熱のもと各施設、医療機関で頻りに活動中です。

このチームには当院のリハビリテーション科スタッフも多数参加しており、皆さん一生懸命踊ってくれていました。当日は、大変あつい日でしたが、玄関前に大勢の人が見に来てくれていました。



20世紀最後にして最大のアコースティック楽器
「スティールパン」



よさこい踊りの他にもスティールパンによる演奏がありました! この楽器は、ドラム缶から作られた音階のある打楽器であり、独特の倍音の響きを持った音色が特徴で、カリブ最南端の島国・トリニダード・トバゴ共和国で発明されたそうです。

このスティールパン、見た目はぼこぼこにへこんだ中華鍋のようになっているんですが、その外見からは信じられないくらい綺麗な音色が響きわたり、最初はスピーカーから流れてくる録音音源かと思いき、観客の皆さんビックリしていました。